

# 製品説明書

製品名 伝統の漆喰城かべ等の  
一般的な施工要領



この商品説明書に記載されている『漆喰製品』の上塗り用、中塗り用は下記の製品であり、すべての漆喰製品に該当する説明ではありません。その他の漆喰製品につきましては各商品別商品説明書を参考にして下さい。

## 漆喰の【上塗り用】

城かべ漆喰  
城かべ練り漆喰  
高級城かべ  
ほんねり  
古代漆喰上塗り用  
古代漆喰外装用

## 漆喰の【中塗り用（砂漆喰）】

城かべ中塗り用  
古代漆喰屋根中塗り用

各商品の概要は、カタログ及び当社ホームページ商品一覧をご覧ください。



近畿壁材工業株式会社

656-1521  
兵庫県淡路市多賀 2150  
電話 0799-85-1147  
FAX 0799-85-2030

## 伝統の漆喰施工要領

### 施工要領書に該当する商品

この施工要領書に書かれている漆喰とは、当社販売の伝統の漆喰（上塗り漆喰仕上げ材）でありすべての漆喰製品に該当するものではありません。また、カタログに記す内装用カラー漆喰や屋根漆喰などは、この施工要領書以外に各商品の商品説明書をご参考に施工して下さい。本文中の「漆喰」及び「砂漆喰」は下記の商品群の製品を記しております。

### この施工要領に該当する漆喰商品群

#### 上塗り漆喰

城かべ漆喰  
城かべ練り漆喰  
高級城かべ  
ほんねり  
古代漆喰上塗り  
古代漆喰外装用

#### 砂漆喰（中塗り用）

城かべ中塗り  
古代漆喰屋根中塗り

※その他の製品もご参考頂ける内容ですが、各商品の施工要領をご参考頂き、ご不明な点はお問合せ下さい。

## 混練（攪拌）

混練は、漆喰にとって重要な作業になります。混練不足は漆喰のダマ（塊）などが発生し作業効率を悪くします。



### ①練り樽（タル）

練り樽は市販の左官用を利用しますが、プラスチック製の練り樽は攪拌機の羽根で表面を削り削れたカスが異物になる場合があります。ステンレス製の物をお勧めします。また、出来るだけ他の製品との併用は避け漆喰専用の練り樽としてお使い下さい。



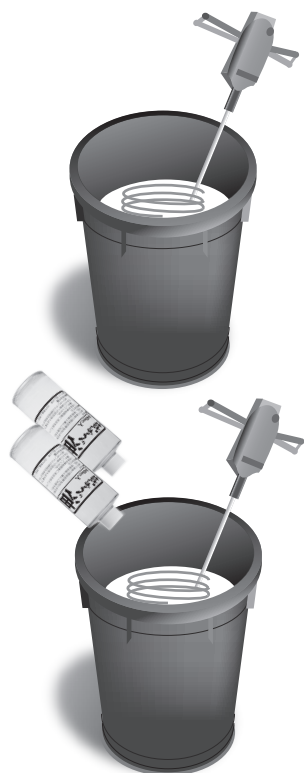
### ②水：混練水（水道水）

水は表記の混練量の若干少な目 90%程度先に練り樽に入れます。  
例）城かべの場合 1袋 20kg混練の場合 14ℓ / 程度入れます。  
※ここでの水は、基本「水道水」をご使用下さい。井戸水などの場合異物や成分による何らかの不具合が起こる場合があります。



### ③漆喰の混入

水を入れた後、漆喰を入れます。  
※一度に漆喰を入れて下さい。軟らかく練ってから少しずつ漆喰を追加すると「ダマ」の原因になり、練り樽の底に残る原因にもなります。



④混練

力の強いハンドミキサーを利用し一気に練り上げます。硬く混練が困難ですが根気よく混練する事でだんだん柔らかくなってきます。完全に練りあがるまで水は追加しないで下さい。固練りを続ける事ですさが分散し、「ダマ」が擦りつぶれ無くなります。

④城かべ油の追加

外部に漆喰を使用する場合は必ず城かべ油を追加して下さい。油混入後再度十分混練して下さい。



漆喰用卍羽根



上塗り漆喰城かべ油必要混入量

城かべ練り漆喰	1本	粉末状漆喰 20 kg 1袋に2本、
城かべ漆喰	2本	練り状漆喰 20 kg 1袋に1本を
高級城かべ	2本	目安に、すでに入っている漆喰
ほんねり	×	には必要ありません。
古代漆喰上塗り	1本	
古代漆喰外装用	×	

⑤水の混入（硬さ調整）

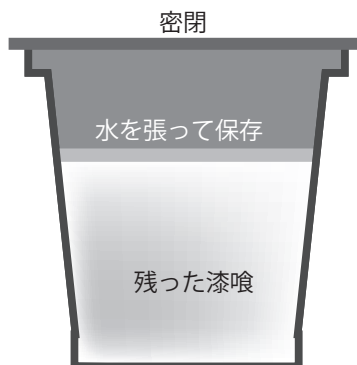
最終の硬さに水で調整し混練して完成。

練り漆喰の混練



継承本練り漆喰や古代漆喰などの練り漆喰も使用前再度練り樽で混練して下さい。また、硬い場合は水を追加し練り戻して下さい。

練り置きと長期保存



□練り置き

施工前2～3日ほど練り置くと塗りやすくなります。練ってすぐご使用できますが練り置きする事で作業性が向上します。仕事を行うと決まった時点での練り置きをお勧めします。

□長期保存

漆喰は、乾燥させなければ長期保存が可能です。バケツに水を張り、乾燥しないように密閉保管していただくと長期保存も可能です。

## 下地調整

下地調整は漆喰を塗る前に行う重要な作業となります。亀裂の発生やアクシミなどの不具合を起こさないよう注意して下さい。

漆喰の下地への吸水（水引き）は大敵です。吸水の激しい下地への施工は十分に注意しシーラーなどの下地調整を行って下さい。

### 吸水の激しい下地への処理

モルタルや石膏プラスター、砂漆喰の完全乾燥した上に漆喰を塗る場合は必ず城かべシーラーを塗布して下さい。通常は3倍液（城かべシーラー1ℓ 1本に水2ℓで希釈し刷毛、ローラーで塗布して下さい。

※城かべシーラー塗布後次工程に進む場合必ずシーラーを完全乾燥して下さい。



城かべシーラー

### アクが心配な下地への処理

リフォームや合板などの下地に漆喰を塗る場合アクが心配になります。これらの下地に直接漆喰を塗る事はできませんが、あく止めシーラーを利用し下地処理を行って下さい。

※あく止めシーラー塗布後次工程に進む場合必ずシーラーを完全乾燥して下さい。



あく止めシーラー

このような場合は作業を中断し下地処理を行って下さい。

#### ○ブツ（気泡）が発生する場合

表面乾燥している下地に急激に水を取られている可能性があります。

吸水調整（城かべシーラー）を行います。

#### ○塗り付け直後から乾燥していく場合

下地に水を奪われドライアウトしている可能性があります。

吸水調整（城かべシーラー）を行います。

### 城かべシーラーを使わず下地の吸水調整を行う場合

#### 引き糊の工法

下地の吸水が早い場合や、夏場の天候による乾燥が早い場合は、海藻糊を追加し漆喰の下地への吸水を調整する事が出来ます。

上塗り漆喰に城かべ角又か炊き糊を入れ、珪砂か寒水石を追加し吸水の激しい下地にしごき塗ります。その後追い掛けで漆喰を塗れば城かべシーラーを利用せずに下地の吸水を押さえる事が出来ます。



城かべ角又  
炊き糊

例) 下地の吸水と種類によって変更して下さい。

城かべ 20 kg 1袋 城かべ角又 2～4本 珪砂 6号 /10 kg

または、寒水石 KD-1/10 kg



### 不具合が発生する危険性がある下地

亀裂により漆喰の利用が難しい下地

弾力性がありたわみ、湾曲、経年変化による反り等が発生するものは控えて下さい。  
外部でのラスカット下地、無塗装サイディングボード、構造用合板、軽カル板等

下地からのあくシミ止めが必要な下地

あくシミ等が心配な物は適切な下地処理を行って下さい。  
合板、ビニールクロス、古壁

## 塗り付け

漆喰の下塗りはどのような場合でも完全乾燥して下さい。完全乾燥した下地に城かべシーラー等を塗布し塗り付けます。

モルタル、中塗り土、石膏プラスター、各種下塗り材には絶対に追い掛けしないで下さい。中塗り土や石膏プラスターからアクが発生します。

### 砂漆喰（中塗り漆喰）の使用

漆喰を塗る中塗りには基本的には砂漆喰を塗って下さい。また、砂漆喰には漆喰を追い掛けで仕上げして下さい。

砂漆喰施工のメリット

- ①モルタルや石膏プラスターの不陸を修正し上塗り施工に適したフラットな下地を造る事が出来ます。
- ②漆喰に必要な水持ちが良好で、ドライアウトなどを抑制します。
- ③モルタル等に塗る事でモルタルの動きの緩衝材になり亀裂を軽減できます。
- ④漆喰の中性化を遅め漆喰の耐久性を向上させます。
- ⑤水持ちが良くいつまでもノロが浮き、鏝押さえを多く行え表面強度が向上します。
- ⑥美しく仕上がります。

砂漆喰を塗り付け、追い掛けで漆喰を塗る場合砂漆喰をよく押さえて下さい。この場合は、塗り付けに地金や半焼のやわらかい鏝を利用し十分厚みを付けてフラットに仕上げして下さい。砂漆喰も良く押さえて下さい。

### 砂漆喰への追い掛け

砂漆喰への追い掛けのタイミングは非常に難しく、早すぎると砂が浮き、遅すぎるとブツ（気泡）が出来ます。また、乾燥がムラになると漆喰を塗り付けた場合にムラ引きし上手く仕上がりにません。追い掛けが出来ない場合は、無理せず一度完全乾燥し、城かべシーラー 3 倍液を塗布し漆喰を塗り付けて下さい。

## 養生

漆喰の施工後の乾燥日数は、季節（気温）、塗り厚で大きく変わります。通常2週間程度で乾燥しますが、冬季の場合は1か月近く乾かない場合もあります。完全に乾燥するまでは特に雨に掛からないよう養生して下さい。

また、夏場の急激乾燥にも十分注意しドライアウトなどに注意し日除け対策と施工時期に十分注意して下さい。海藻糊混入で対策出来ますが、モルタルなど下地が熱くなっている場合は効果がありません。練り水の水温もあまり上昇しない様に注意して下さい。

## メンテナンス

漆喰に発生した亀裂、汚れ、アクシミなどは基本的にはメンテナンスすることが出来ません。亀裂や汚れが発生しないよう適切な下地処理と撥水剤などの併用で対策して下さい。

### 汚れの除去

#### 内装の汚れ

表面に付着した手垢などは消しゴムで除去できる場合があります。マジックなどの汚れは、細かいサンドペーパーで削り落して下さい。

表面からの汚れは水拭きか中性洗剤を使いスポンジで清掃するとある程度除去する事が出来ます。その場合でも取れない場合は、塩素系の漂白洗剤（アルカリ性）やオキシドールをお試しください。



プロテクター Ex

#### 外壁の汚れ

内装の汚れ同様、中性洗剤で清掃し取れない場合は塩素系漂白洗剤で洗浄して下さい。洗剤で取れない場合は、サンドペーパー等で削り落として下さい。しかしこの場合壁を傷めます。施工後は、撥水剤を塗布して下さい。

### カビの汚れ

漆喰に発生したカビは、市販の塩素系カビ除去洗剤で洗浄して下さい。

その後殺カビ剤を塗布し完全にカビを除去します。

カビの発生しやすい場所での漆喰には、撥水剤を塗布して下さい。



殺カビ剤

### 塗替え

漆喰の汚れがひどく塗り替える場合は、漆喰ベース、ボードベースを利用する事で漆喰の塗替えが可能です。



内装用塗替え下地材 ボードベース

外装用塗替え下地材 漆喰ベース



城かべ撥水剤

城かべ撥水剤はカビが好む一番の原因「水分」を漆喰内部へ浸透させなくする浸透性撥水剤です。漆喰内部に防水層をつくり、水分の内部侵入を防ぐため、壁表面に水分が滞留せず、乾燥がはやくなりカビや汚れから漆喰壁を守ります。

## 注意事項

□施工の時期に気を付けて下さい。

漆喰は、夏の炎天下や冬の寒い時期の施工は行わないで下さい。特に内部外部関係なく昼夜養生日施工後2週間の期間を含め、5℃以下になる場合は施工しないで下さい。

□塗り付け厚に注意して下さい。

漆喰は、厚塗りが出来ません。厚塗りする事で亀裂等が入ります。標準施工厚を超えないように施工して下さい。

□ブツが出る場合は施工を中断して下さい。

ブツが出る下地は下地が乾燥し急激に吸水しているか、逆に水が吸水しない場合にも起こります。押さえる事でブツは消えますが、基本的には接着不良となる為作業を中断し下地処理を行って下さい。

□表面にすさが見えないように押さえて下さい。

漆喰は十分に押さえる事で本来の性能を発揮します。押さえが足りない場合はノロが浮かず表面にノロが被さりません。この場合表面にすさが見え、すさから吸水し割れなどが発生する場合があります。十分に鋺押さえを行いノロを被せずさを沈めて下さい。

□急激な乾燥は避けて下さい。

夏場など急激な乾燥は避けて下さい。乾燥が早くなる場合は、砂漆喰を厚く塗り漆喰に海藻糊を追加し対策して下さい。

□漆喰は自然素材です。

ロットによる多少の色調の違い、すさや糊材の異物等混入している場合がありますが品質には影響はありません。自然素材であることをご理解の上ご使用ください。

□本施工要領書は、弊社漆喰関連製品を使用した施工を保障するものではありません。

天候、気温、湿度、下地、養生等様々な状況において施工方法が変わり施工要領だけでは表現できない事例も多く発生します。施工要領通りに施工しても構造亀裂などが発生する場合があります。施工上ご不明な点は必ず施工前にお問合せ下さい。

## 施工ポイント集

城かべ漆喰施工の良し悪しは、気象条件、下地処理、施工方法などで大きく変わります。下記は不具合故障の原因となるポイントを取り上げております。施工前にもう一度ご確認下さい。

### ◆施工時期について ※施工時期は重要です。十分ご注意下さい。



#### 梅雨時期の施工

長期間雨が降り続けていませんか？  
施工後雨は大丈夫ですか？

梅雨の雨が降り続く時期は、湿気による乾燥不良や乾燥前の雨掛かりなどで表面にぶつがでたり汚れたりします。雨対策は十分に行い、施工後の養生は数日天気の良い日を選んでください。城かべ漆喰は完全に乾燥するまで水に戻りやすい性質があります。特に下地に水を含んだ場合は、いつまでも硬化せず、強度も低下します。

不具合！ 乾燥不良による接着不良。 雨による表面米粒大のブツや汚れ。長雨によるカビや汚れ、クラック。



#### 真夏の施工

下地や練り水の温度、気温が35℃以上になっていませんか？

夏場のドライアウトが原因で急激に下地に水を取られる為に起こります。下地の水湿しを十分に行い、城かべシーラーによる水引き調整や、城かべ角などの糊を追加してください。練り水の水温が高い場合は、氷などで冷やしてください。

不具合！ 塗り付けた瞬間に乾く。押さえる時間がない。気泡が出来て消えない。押えると引き起こしができる。



#### 冬季の施工

施工日より1週間、昼夜気温が5℃以下になっていませんか？

冬季12月～2月頃の施工【施工後1週間程度昼夜5℃以下】は避けてください。凍害による硬化不良や、乾燥不足による強度の低下、冷水による混練での石灰分遊離による白華現象などが起こります。特に色漆喰や、磨きなどの施工は行わないで下さい。

不具合！ 城かべ漆喰が乾かない。乾いた後手に白い粉が付く。表面が弱い、吸水率が高い。

### ◆施工箇所について



#### 外部ボード系下地

ラスカット下地や構造用合板には施工しないで下さい。

ラスカットパネル、無塗装サイディング、ALCなどの弾性下地の動きに城かべ漆喰が対応できません。施工する場合は、下地モルタル塗り全面ネット伏せなどの補強を行い割れることを前提として進めてください。合板などへの施工は上記以外にアクが出る場合があります。

不具合！ ジョイント部分で割れる。亀の甲に割れる。剥離を起こす。

#### 内装ボード下地

ラスボード、平ボードには絶対に直接塗らないで下さい。

城かべ漆喰の特長強アルカリによるボード表面の紙が腐食し剥離する危険性があります。絶対に直接塗らないで下さい。ボードベース中塗りを行い補強してください。ボードのジョイント部分は必ずVカットしジョイントテープを貼り付け補強してください。

不具合！ ジョイントの色が変わる。数カ月後剥離する。ジョイント部分で割れる。



#### 吸水の激しい下地

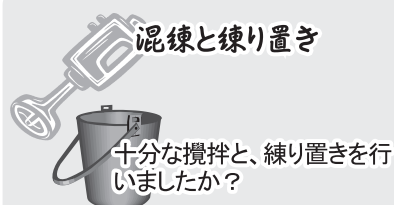
珪カル板や、石膏などの吸水の激しい下地には絶対に直接塗らないで下さい。

吸水の激しい下地への施工は絶対に行わず、施工中吸水が激しい場合は施工を中断してください。珪カル板などへ直接施工は絶対に行わず、城かべシーラーを必ず塗布し吸水調整後下塗りを行ってください。

不具合！ 施工中ブツが多く現れる。乾燥が速く鏝押さえが十分に出来ない。押えると引き起こしができる。下地との接着不良(剥離) 塗り厚が厚くなり割れる。

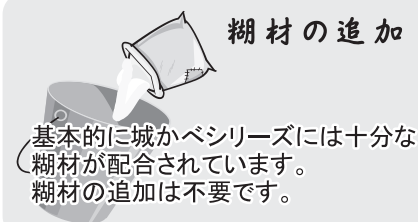


◆事前準備 ※練り置きなどの準備が仕上がりに大きく影響します。



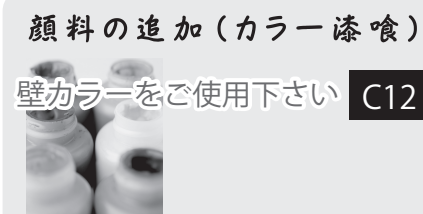
城かべ漆喰の粉体製品は、練ってすぐ使用できますが練り置きと十分な攪拌を行うことでより一層使いやすくなります。  
練り置きは一昼夜、出来れば4～5日程度すれば保水性と潤滑性が向上し最も作業性が向上します。倉庫で練り置きし練樽で現場へ持ち込むことをお勧めします。

不具合！ 乾燥後のふけ、ふくれが起こる。剥離や引き起こしが出る。



城かべ漆喰シリーズには、適度な海藻糊が配合されており、基本的には糊の追加の必要はありません。しかし、真夏の漆喰工事など糊の追加が必要な場合、粉体漆喰には城かべ角又を空合わせ、練り漆喰には黒葉銀杏草炊き糊を追加することが出来ます。  
追加後は十分練り置きしてください。

不具合！ 糊を入れすぎると作業性能が低下し、毛状亀裂を起こします。



耐アルカリ(セメント用着色顔料)の市販顔料をご利用いただくことは可能です。しかし混練不足の色とび、色ムラなどの可能性があります。十分に分散した材料を利用し試験塗りが必要です。下地の水引、鏝押えムラ、乾燥スピードにより色が変わります。  
特に冬場の施工は絶対にお止め下さい。色むらになります。

不具合！ 顔料を入れすぎると亀裂を起こします。必ず色むらになります。

◆その他の注意事項

○追っ掛け仕上げ

城かべ中塗用(砂漆喰)が生乾きの上に城かべ漆喰を塗る場合、塗り面を十分押さえ締った頃を見計らい上塗を行います。追っ掛けが早い場合は砂が浮いてきます。遅い場合は、ブツが出来たり急激な乾燥により不具合を起こします。追っ掛けのタイミングが遅くなった場合は、城かべ中塗用(砂漆喰)を完全乾燥し、城かべシーラー3倍液を塗布してください。

○他材料の混入

- 白セメント × 城かべ漆喰と、セメントとはまったく性質が違います。
- 消石灰 ○ 城かべ漆喰の主成分は消石灰です。しかし弊社指定の左官用特級塩焼き消石灰をご利用下さい。
- ボンド(樹脂) × 天然素材100%の漆喰に樹脂ボンドを入れると意味がありません。
- 砂(硅砂) ○ 城かべ漆喰に砂を入れ砂漆喰を作ることは可能です。泥の少ない山砂をご利用下さい。
- 油 ○ 弊社指定の城かべ油をご利用下さい。
- すさ(繊維) ○ 弊社指定の富士すさをご利用下さい。

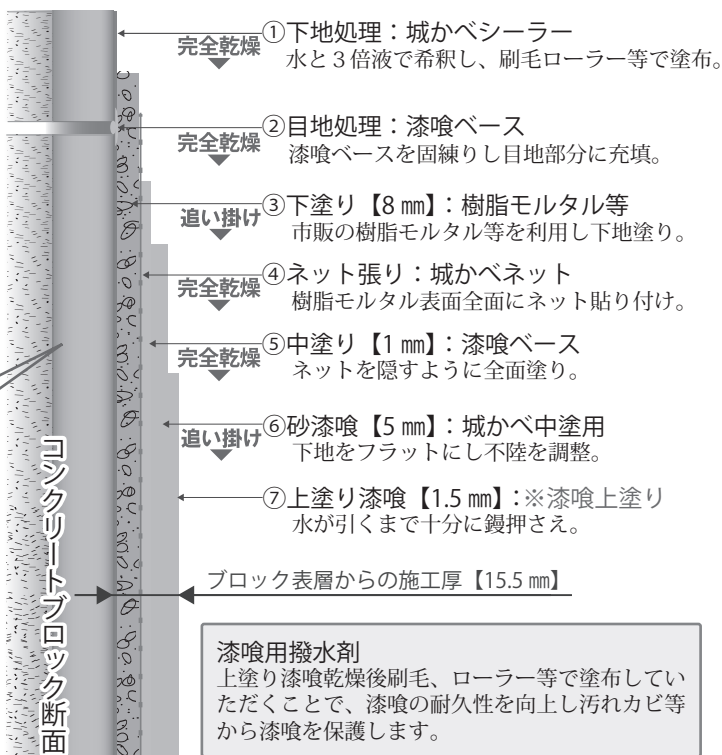
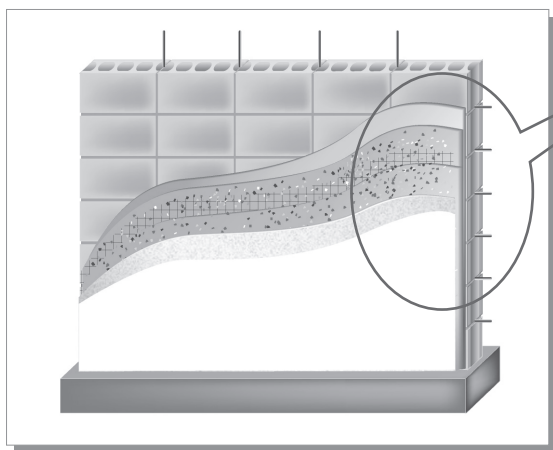
○古い漆喰の塗り重ね

古い漆喰の上に直接漆喰を塗ることは出来ません。  
古い漆喰が浮き割れなど傷みが無く汚れアクシミの問題が無ければ漆喰塗り替え用下地材漆喰ベースを使用することで施工が可能です。



## コンクリートブロック下地漆喰施工について

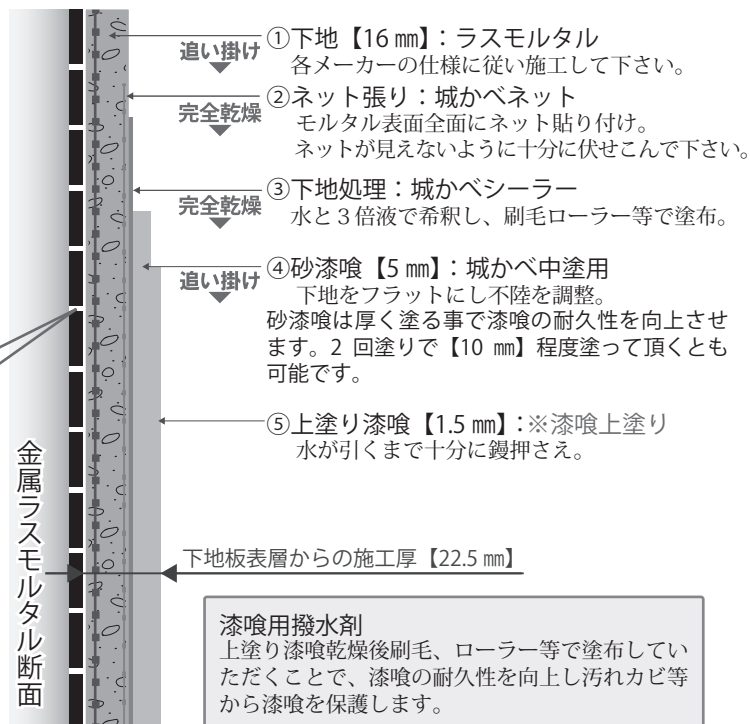
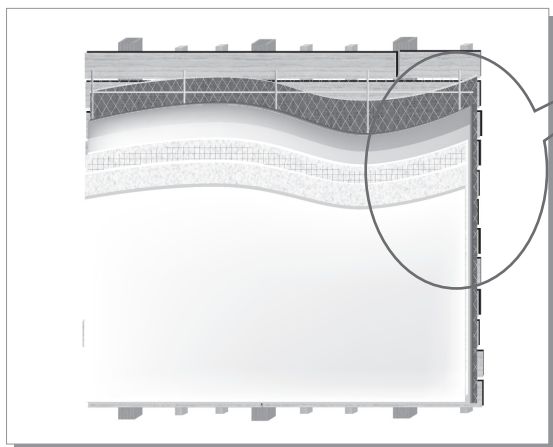
コンクリートで出来たブロックを鉄筋で補強し積み上げた下地。下地の吸水も高くコンクリートブロックの特性上目地部の亀裂も多いのが欠点。ブロック部分からの水の侵入と逆に表面からの水の侵入に注意が必要で、樹脂モルタル塗りと施工後の撥水剤の塗布は効果的である。



※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰等であり外部には必ず城かべ油を混入して下さい。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

## 軽量モルタル下地の漆喰施工について

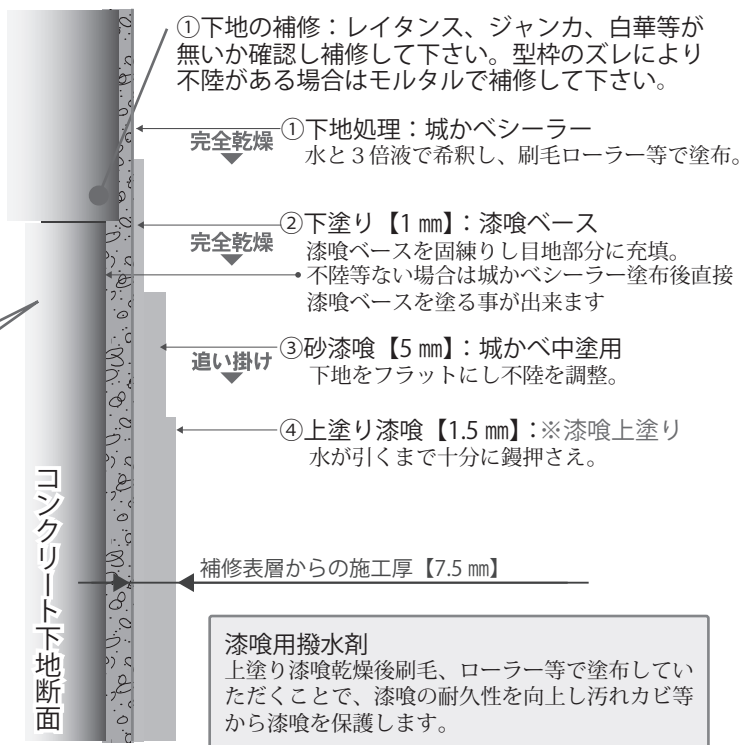
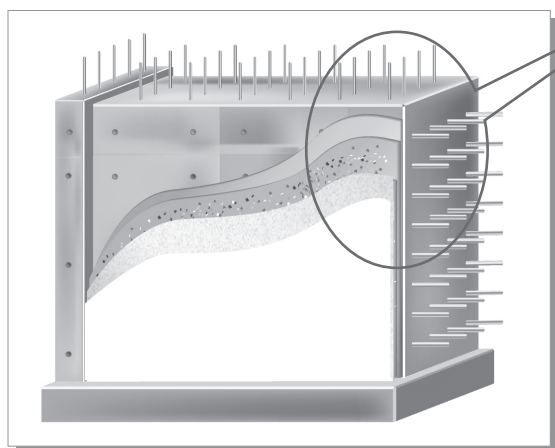
外装漆喰では最もポピュラーで一般的な下地です。構造用合板やバラ板の上に防水紙を張り金属ラスを貼り付けモルタルを塗った下地。モルタルメーカー各社の技術革新により様々な工法があり近年割れにくくなっている。木造住宅の外壁にはよく使われている。



※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰等であり外部には必ず城かべ油を混入して下さい。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

## コンクリート下地漆喰施工について

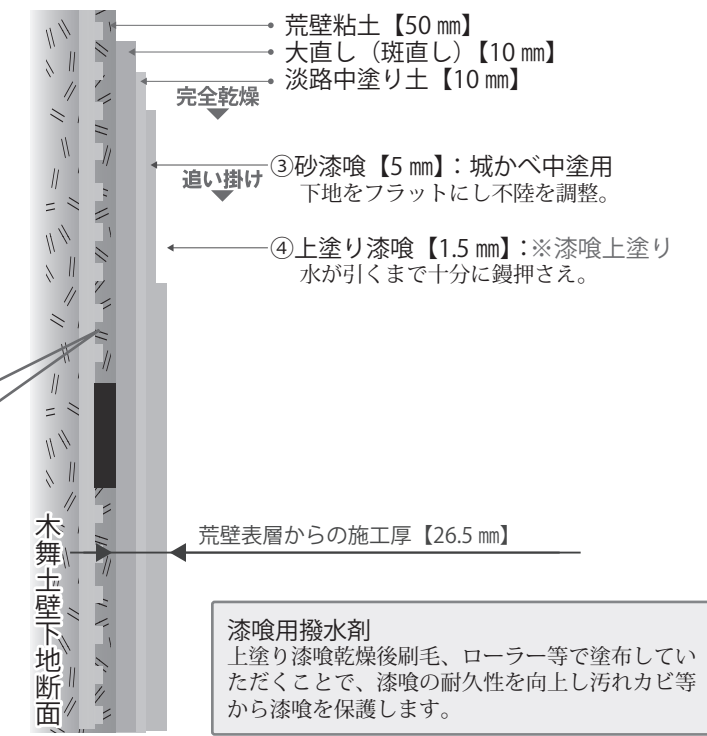
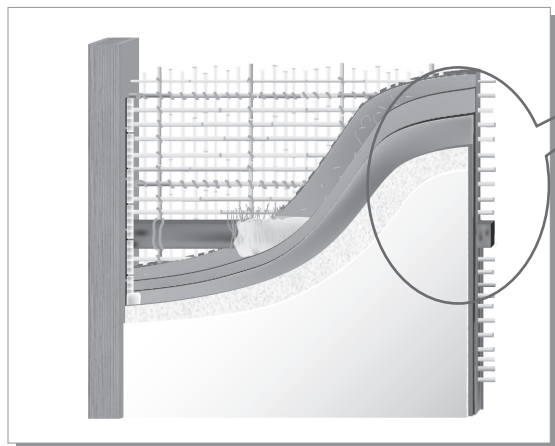
Reinforced Concrete (RC) とも言う鉄筋とコンクリートを組み合わせた強固な下地。大型建造物に使われることが多く、漆喰下地としてはお城で使われる事が多い。比較的丈夫な下地で構造的なクラックは少ない。不陸等なければ内装では薄塗りでも仕上げる事も可能である。



※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰等であり外部には必ず城かべ油を混入して下さい。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

## 木舞土壁下地漆喰施工について

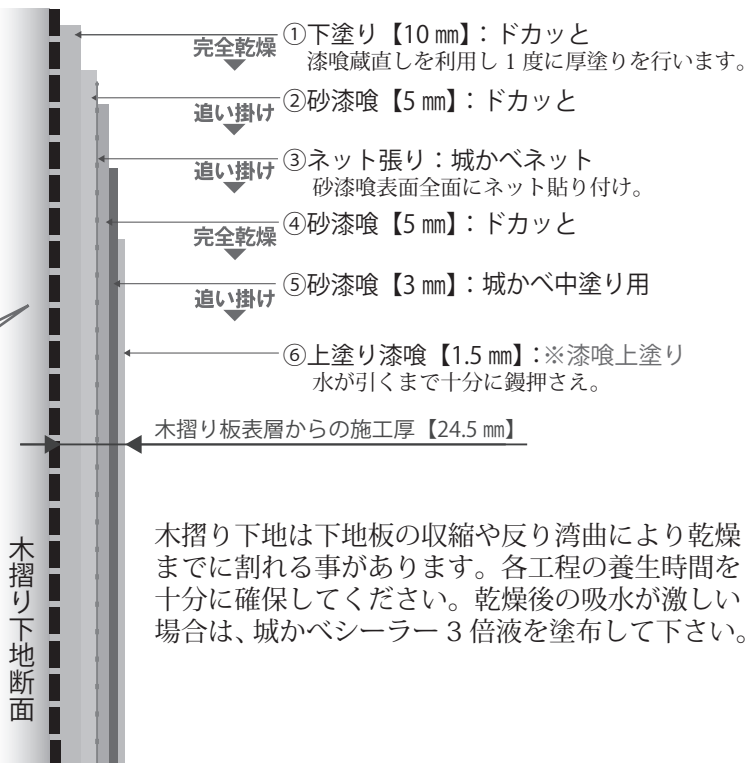
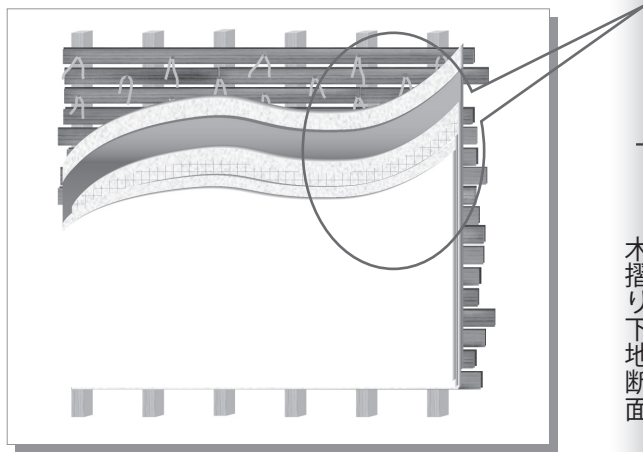
真竹の割り竹を利用し格子状に木舞縄で網み組んだ下地。粘土（荒壁）を塗り土を塗り重ねるこの下地は、漆喰下地として様々な特徴を持ち、漆喰を仕上げるには非常に適した下地である。工期や単価の問題から近年見る事は少なくなっているが、こだわりの住宅には現在も使われている。



※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰等であり外部には必ず城かべ油を混入して下さい。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

## 木摺り下地漆喰施工について

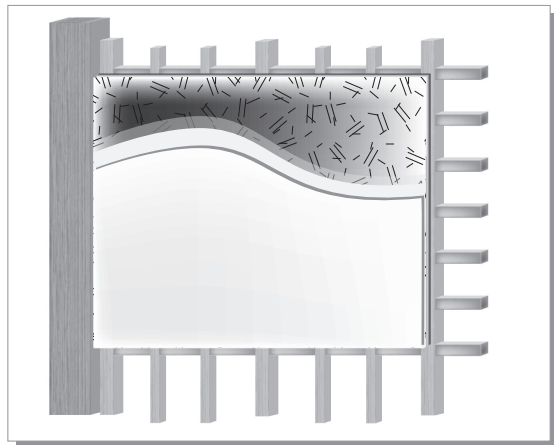
幅 30 mm ~ 40 mm 程度の杉材を間柱に釘止めした木材ラス下地。明治中期頃より洋風建築が盛んに行われるようになるのと同時に普及してきました。石膏ボードが無い頃に洋風の柱を見せない大壁デザインに適しており石膏ボードの誕生までは日本建築の中心的な下地でした。



※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰他各種漆喰系内装仕上げ材です。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

## 古壁下地の漆喰施工について

リフォーム需要が多くなる中、古壁の塗替えは重要な左官工事となります。適切な下地処理を行わなければ施工後にシミ、アク、亀裂などの不具合が生じます。漆喰の下地としては古壁はあまり適していませんが、確実な下地処理で対応して下さい。



### ①古壁の確認

古壁の種類と強度。古い繊維壁や聚楽壁で表面に強度が無くポロポロと剥落するような下地は必ず除去して下さい。またあくシミの心配がある場合や、下地が薄いベニアなど湾曲する場合も施工はできません。

### ②下地処理

- 1、あく止めシーラー（原液）塗布。  
完全乾燥
- 2、ボードベース塗り。  
不陸が大きい場合は、ボードベースに珪砂 5 号を 4 kg 追加し不陸調整して下さい。  
ボードベース乾燥後アクが出る場合は、再度ボードベースを薄く塗って下さい。  
完全乾燥

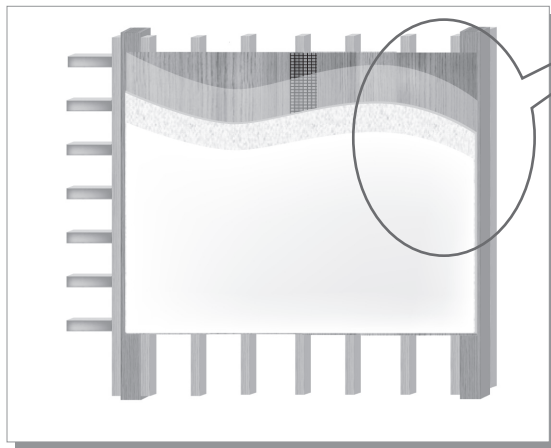
### ③上塗り

- 1、上塗り漆喰塗り。

※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰他各種漆喰系内装仕上げ材です。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

### 合板下地漆喰施工について

薄い木材を接着剤で張り合わせ、1枚の板にしたボード、強度と加工が容易で床材や天井材など様々な建築構造材として普及しております。漆喰壁の下地としては曲げ、反りなどと強いアクが問題となりあまり適しません。

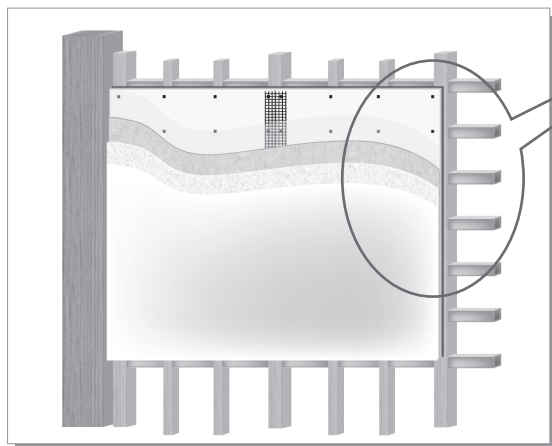


- ①下地処理：ジョイントネット 60  
ボードのつなぎ目部分を補強。
  - 完全乾燥  
②下地処理：あく止めシーラー  
原液で刷毛ローラー等で塗布。
  - 完全乾燥  
③中塗り【1mm】：ボードベース  
砂漆喰を塗る事は可能です。
  - ④上塗り漆喰【1.5mm】：※漆喰上塗り  
水が引くまで十分に鍍押さえ。
- 合板表層からの施工厚【2.5mm】

※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰他各種漆喰系内装仕上げ材です。  
砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

### 石膏ボード下地漆喰施工について

石膏を原紙で被膜した物で、防火性に優れ加工しやすく軽い事から現在の建築の内装下地として広く普及しております。特殊用途により様々な種類があり、ビニールクロスから塗り壁まで様々な仕上げ材に使われております。



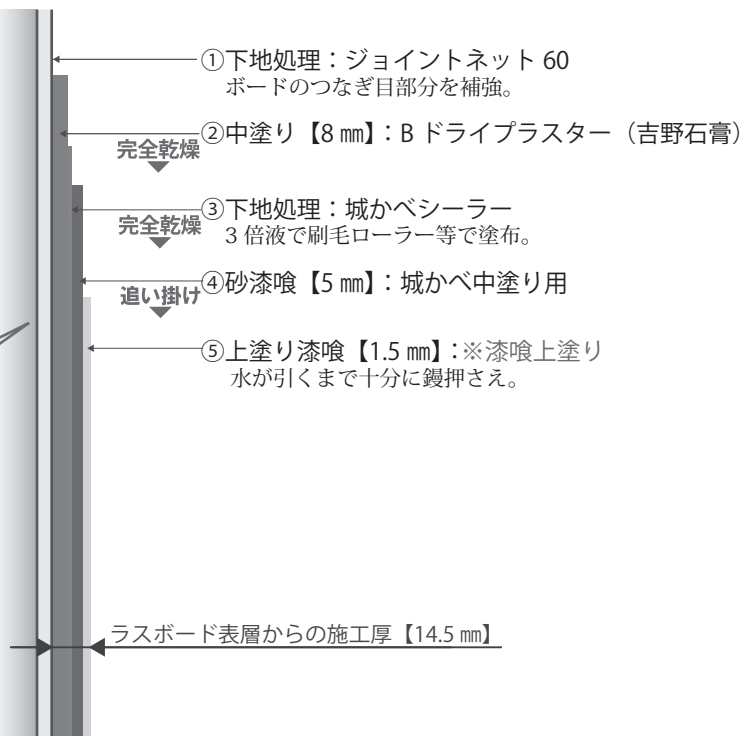
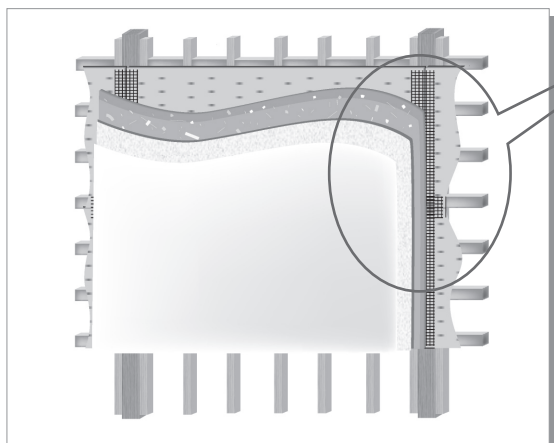
- ①下地処理：ジョイントネット 60  
ボードのつなぎ目部分を補強。
  - 完全乾燥  
①下地処理：城かべシーラー  
3倍液で刷毛ローラー等で塗布。
  - 完全乾燥  
②中塗り【1mm】：ボードベース  
砂漆喰を塗る事は可能です。
  - ③上塗り漆喰【1.5mm】：※漆喰上塗り  
水が引くまで十分に鍍押さえ。
- 石膏ボード表層からの施工厚【2.5mm】

※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰他各種漆喰系内装仕上げ材です。  
砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。



## ラスボード下地の漆喰施工について

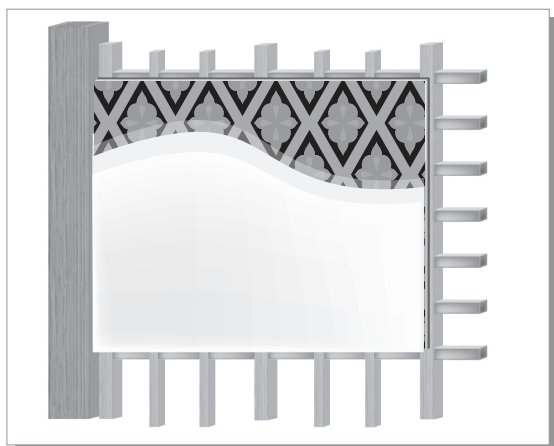
塗り壁用の石膏ボードとして普及した下地です。強靱な原紙で石膏を挟み込み、表面にくぼみを付けて塗り壁の付着を良くした下地材です。厚みが薄いので薄塗工法には適さず、石膏プラスターを8mm程度塗って下地として強度が出ます。



※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰他各種漆喰系内装仕上げ材です。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。

## ビニールクロス下地漆喰施工について

リフォーム需要が多くなる中でビニールクロスの塗替えは重要な下地となります。クロスを剥がす事で下地の強度が低下する危険性もあり、クロスを剥がさずに施工できるような対策が必要です。下地の脆弱なところを補強する事で漆喰を塗る事が出来ます。



### ①下地の確認

- クロス（壁紙）の種類はビニールか。
- ビニールクロスの下地はしっかりしているか。
- 浮き、破れ、剥がれ等は無いか。
- あく、しみ、汚れの程度はどうか。

### ②下地処理

- 1、クロスの脆弱部の撤去、タッカー止め、ジョイントネット60での補強。
- 2、あく止めシーラー（原液）塗布。  
完全乾燥
- 2、ボードベース塗り。  
ボードベース乾燥後あくが出る場合は、再度ボードベースを薄く塗って下さい。  
完全乾燥

### ③上塗り

- 1、上塗り漆喰塗り。

※漆喰上塗りは、弊社継承本練漆喰、城かべ、古代漆喰他各種漆喰系内装仕上げ材です。砂漆喰には城かべ中塗用をご使用ください。砂漆喰に上塗りする場合は必ず追い掛けで行って下さい。より詳しい施工要領は、お問合せ頂くか、ボードベースのカタログをご参照下さい。



## 注意事項

### 内装・外装について

記載の下地「コンクリートブロック」「軽量モルタル」「コンクリート」「木舞土壁」は内外装ご利用頂けますが、その他の下地は基本内装用下地となります。

### 記載内容以外の下地について

本カタログ記載以外の下地については亀裂の危険性及び、施工実績の無などの理由から表示しておりません。特に「外部ラスカットボード」「サイディングボード」「デラクリートボード」などの外部パネル系下地は亀裂の発生が報告されている理由により現在では施工要領を作成しておりません。

ニュータイプの漆喰リライムなどの製品は、上記の様な下地にも対応出来るよう対応を進めております。お問合せ下さい。

### 砂漆喰（城かべ中塗り）の内装利用について

一部内装砂漆喰（城かべ中塗り）の記載が無く、ボードベースに直接上塗り漆喰と表記しておりますが、砂漆喰は塗って頂く方が機能性、耐久性、上塗り漆喰の仕上がりすべてにおいて向上します。外装ににおいては必ず使用し、内装においてはボードベース上に直接上塗り漆喰を塗って頂いて問題はございません。

### 完全乾燥と追い掛けについて

完全乾燥は、その製品が完全に硬化した状態を意味します。硬化時間は製品によって違いがあります。

追い掛けは、乾燥させずにタイミングで次工程に入る事を示し、特に砂漆喰に上塗り漆喰を塗る場合などは追い掛けの方が美しく強く仕上がります。ただ、天候、気温などに大きく左右されますのでご注意ください。施工中ブツが発生するような場合は、追い掛けのタイミングが遅く、表面に砂漆喰の砂が出る場合は追い掛けのタイミングが早いので施工を中断し処理を行って下さい。

### 古壁・ビニールクロスの塗替えについて

古壁やビニールクロスの塗替えは、表面よりその下の下地が何かわからない為、十分にご注意下さい。特に大きな構造亀裂（クロスを破る様な下地の割れ）などがある場合は、その部分から再度亀裂が発生する危険性があります。下地から補修する必要があります。

古壁も、3mm～5mmのベニヤなど比較的薄い下地に塗られている場合などがあり、塗り替えても割れる危険性があります。下地を確認して下さい。

### あく止めについて

あく止めシーラーとボードベースの併用で様々なあくを止める事が可能ですが、下地によっては止まらない物もあるのでご注意ください。あくを100%止める事は保障できません。

### 記載内容の免責事項

各種施工要領に記載した施工要領は、施工・完成を保証するものではありません。本書を参考にご使用ください。また、季節・気温・天候・方角など様々な条件により厚みや施工方法は変わります。漆喰の天然素材の特性を十分にご理解頂きご使用ください。

記載の漆喰及び漆喰関連商品は弊社近畿壁材工業が販売する製品でありすべての漆喰製品及び他社製品を記した物ではありません。

ご不明な点ご質問は下記にお問合せ下さい。

近畿壁材工業株式会社 0799-85-1147（代）